



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 カッパ・クリエイト株式会社

コード番号 7421 URL <https://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山角 豪

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 武井 伸夫 TEL 045-224-7095

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	54,149	3.0	973	-	1,017	-	806	-
2023年3月期第3四半期	52,590	3.5	△1,341	-	△1,345	-	△1,601	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 796百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 △1,572百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	16.35	-
2023年3月期第3四半期	△32.46	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	31,789	9,502	29.7	191.05
2023年3月期	28,938	8,696	29.8	174.79

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,427百万円 2023年3月期 8,623百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2024年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,289	5.5	1,584	-	1,623	-	1,140	-	23.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社 （社名） 、除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	49,414,578株	2023年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	71,597株	2023年3月期	77,597株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	49,340,166株	2023年3月期3Q	49,388,486株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(偶発債務) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類感染症へ移行されたことから、経済活動正常化の動きが加速し、大企業を中心とした賃金増も後押しとなり、景気は緩やかに回復してきております。一方で、円安や原材料価格・エネルギーコストの高騰、賃金増を上回る物価の上昇などにより依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、インバウンド消費は拡大しているものの、原材料価格や光熱費、物流費などの高騰や人手不足によるコストアップが継続し、厳しい経営環境が続いております。また、新型コロナウイルス感染症を契機としたライフスタイルの変化により、多様な価値観が生まれてきております。

このような状況の中、当社におきましては、「お客様の喜びが私たちの喜びです」という社是のもと、「一皿100円（税込110円）」商品を100種以上に拡充する価格訴求に取り組んでまいりました。また、厳選したネタを販売するフェアを実施し、切付・接客技術の向上（切付マイスター制度・接客マイスター制度）や、リーダー人材育成に注力することで、価値訴求を進めております。

設備投資については、当第3四半期に5店舗の改装を行った結果、当第3四半期連結累計期間において、既存店舗の改装投資は50店舗となりました。改装店舗においては、フルオーダー化や自動案内システム、セルフレジ、ご自身のスマートフォンがタッチパネル替わりになる「スマホオーダー」、テイクアウト専用ロッカーを導入し、顧客の利便性向上と店舗の省力化につながるサービスを強化しております。

コストアップの継続に対しては、生産性を向上させる設備の積極的な導入や、切付技術の向上などによる食材歩留まりの改善を進めることで対応してまいりました。

サステナビリティの取り組みとしては、環境負荷軽減につながる食材「大豆ミート」を使用した商品や、日本産水産物の消費促進に向けた対応として「長万部漁港水揚げほたて」を販売し、地球環境や地域・社会への貢献を行ってまいりました。また、多様な従業員が長期にわたって活躍できる環境づくりとして健康経営及び女性活躍を推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は541億49百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は9億73百万円（前年同期は営業損失13億41百万円）、経常利益は10億17百万円（前年同期は経常損失13億45百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億6百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失16億1百万円）となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

#### <回転寿司事業>

回転寿司事業におきましては、大切りの「とろびん長」「とろサーモン」を「一皿100円（税込110円）」で提供するお得感・贅沢感が満載の「かっぱの厳選100円祭り大切りネタ100円」などのフェアの開催や、一部店舗でランチセットを500円（税込550円）から販売する価格訴求に取り組んでまいりました。また、「大とろ」「かに」などの高級食材ネタを堪能するフェアの開催や、大阪・京橋の名店「鮓 きずな」監修の第6弾「名店レシピ」4商品の販売などを通じて、価値訴求を進めてまいりました。更には、「うに」「のどぐろ」「中とろ」の高級ネタを一皿100円（税込110円）で販売し、価値と価格を同時に訴求するフェアなども開催してまいりました。これらの情報については、タレントを起用したテレビCMなどを通じて発信してまいりました。

また、スイーツブランド「ごちCAFE」では「シェ・シバタ」監修の「チョコレートスイーツ」、「本格ラーメンシリーズ」では第27弾・札幌味噌ラーメン専門店「けやき」監修ラーメンを販売いたしました。その他に、「トミカ」などのお子様に人気があるキャラクターとタイアップしたアプリ会員向けオリジナルグッズプレゼントキャンペーンの実施、アプリ会員限定「生ビールほぼ半額キャンペーン」を定期的に期間限定で開催することなどで、多様な消費者ニーズへの対応を進めてきております。

なお、当第3四半期連結会計期間末での店舗数は292店舗となります。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は435億74百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

〈デリカ事業〉

デリカ事業におきましては、当第3四半期に入り売上高が前年同四半期を上回る推移を示しております。取引先と市場ニーズに沿った商品開発を行っており、特に一昨年より取引を開始した新規取引先の売上高向上が大きく寄与し、新しいカテゴリーである冷凍食品に関しても取引高を徐々に伸長させております。

また、工場の運営においては生産性の改善やロスの削減を実施し、収益性の改善を進めてまいりました。引き続きコロナイドグループのシナジー効果を活かし、原材料コストの低減やデザート製品の製造・販売拡大など、さらなる成長に向けた取り組みを進めてまいります。

以上の結果、デリカ事業の売上高は105億74百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は317億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億51百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が12億3百万円増加、機械装置及び運搬具が7億66百万円増加、工具、器具及び備品が10億72百万円増加、敷金及び保証金が2億10百万円減少したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は222億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億45百万円増加いたしました。これは主に、未払金が3億11百万円増加、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が23億10百万円増加、社債及び1年内償還予定の社債が2億90百万円減少、長期未払金及び未払金が1億75百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は95億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億5百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益8億6百万円により利益剰余金が増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,518	8,721
売掛金	3,387	3,661
商品及び製品	421	579
原材料及び貯蔵品	391	558
その他	796	904
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,514	14,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,014	26,106
機械装置及び運搬具	6,334	7,100
工具、器具及び備品	8,104	9,176
土地	1,645	1,645
リース資産	1,283	1,170
建設仮勘定	—	15
減価償却累計額	△32,332	△32,891
有形固定資産合計	11,049	12,324
無形固定資産		
	172	155
投資その他の資産		
投資有価証券	851	854
敷金及び保証金	3,660	3,449
繰延税金資産	563	510
その他	110	62
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	5,184	4,875
固定資産合計	16,406	17,354
繰延資産		
社債発行費	17	10
繰延資産合計	17	10
資産合計	28,938	31,789

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,418	3,831
1年内返済予定の長期借入金	1,380	1,980
1年内償還予定の社債	580	580
未払金	2,449	2,760
未払費用	1,556	1,540
リース債務	15	—
未払法人税等	189	133
賞与引当金	84	51
販売促進引当金	135	209
店舗閉鎖損失引当金	111	4
その他	944	1,047
流動負債合計	10,865	12,139
固定負債		
社債	590	300
長期借入金	4,170	5,880
長期未払金	3,007	2,520
資産除去債務	1,506	1,318
その他	102	128
固定負債合計	9,375	10,147
負債合計	20,241	22,286
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	11,001	8,585
利益剰余金	△2,391	835
自己株式	△65	△60
株主資本合計	8,645	9,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△0
繰延ヘッジ損益	△18	△32
その他の包括利益累計額合計	△21	△33
非支配株主持分	72	75
純資産合計	8,696	9,502
負債純資産合計	28,938	31,789

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
売上高	52,590	54,149
売上原価	26,074	26,135
売上総利益	26,515	28,014
販売費及び一般管理費	27,857	27,040
営業利益又は営業損失（△）	△1,341	973
営業外収益		
受取利息	23	16
受取配当金	50	75
受取家賃	178	169
自動販売機収入	27	23
協賛金収入	6	7
雑収入	42	47
営業外収益合計	329	339
営業外費用		
支払利息	114	133
社債利息	12	6
貸貸収入原価	158	135
雑損失	48	20
営業外費用合計	332	295
経常利益又は経常損失（△）	△1,345	1,017
特別利益		
固定資産売却益	—	1
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	30
受取補償金	95	—
特別利益合計	95	31
特別損失		
固定資産除却損	163	54
特別損失合計	163	54
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,414	994
法人税、住民税及び事業税	144	133
法人税等調整額	47	52
法人税等合計	192	185
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,606	808
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△5	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,601	806



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,606	808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
繰延ヘッジ損益	33	△14
その他の包括利益合計	34	△12
四半期包括利益	△1,572	796
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,566	794
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	2

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年5月22日開催の取締役会において、欠損を填補し、早期の財務体質の強化を図るとともに今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、剰余金の処分が決議され、同日付で処分を実施致しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、その他資本剰余金が24億20百万円減少し、利益剰余金が24億20百万円増加しております。

（偶発債務）

（訴訟等）

当社は、元役員及び社員による競合会社の営業秘密に係る不正競争防止法違反の疑いに関して、2022年10月21日に元役員及び社員と共に同法の両罰規定に基づき起訴されており、元役員については、2023年5月31日に有罪判決が言い渡され、同判決が確定しております。当社及び社員は犯罪の成立を争っており、本件については、今後の推移によって当社の将来の連結業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点でその影響額を合理的に見積もることが困難であるため、四半期連結財務諸表には反映をしておりません。